

費用対効果分析に関する説明資料

事業名	新農業水利システム保全整備事業	都道府県名	宮城県	地区名	旧迫川
-----	-----------------	-------	-----	-----	-----

１．費用便益比の算定

区 分	算 定 式	数 値	備 考
総 事 業 費		1,428,000千円	
年 効 用		163,339千円	
廃 用 損 失 額		-	廃用する施設の現存価値
総合耐用年数		13年	当該事業の耐用年数
還元率×(1+建設利息率)		0.1040	総合耐用年数に応じた効用から総便益を算定するための係数
総 便 益	= ÷ -	1,570,567千円	
費 用 便 益 比	= ÷	1.09	

２．年効用の総括

項 目		年効果額（千円）	効果の内容
営農経費の節減	維持管理費節減効果	139,530	水管理施設の改修、除塵機等の設置に伴う施設の維持管理費の節減 対象施設：揚水機場、排水機場、分水施設、排水施設、水管理施設
施設更新による従前の農業生産の維持	更 新 効 果	19,214	老朽化した施設の更新による従前の農業生産の維持 対象施設：揚水機場、排水機場、分水施設、水管理施設
地域の生活環境の保全・向上	安 全 性 向 上 効 果	4,595	揚・排水機場に監視カメラを設置することによる安全性の向上 対象施設：揚水機場、排水機場
計		163,339	

費用対効果分析に関する説明資料

事業名	新農業水利システム保全整備事業	都道府県名	新潟県	地区名	小栗田原
-----	-----------------	-------	-----	-----	------

１．費用便益比の算定

区 分	算 定 式	数 値	備 考
総 事 業 費		3 , 6 7 5 , 0 0 0 千円	
年 効 用		2 4 3 , 1 1 5 千円	
廃 用 損 失 額		3 2 , 3 4 6 千円	廃用する施設の現存価値
総合耐用年数		2 9 年	当該事業の耐用年数
還元率×(1 + 建設利息率)		0 . 0 6 1 2	総合耐用年数に応じた効用から総便益を算定するための係数
総 便 益	= ÷ -	3 , 9 4 0 , 1 2 1 千円	
費 用 便 益 比	= ÷	1 . 0 7	

２．年効用の総括

項 目		年効果額（千円）	効果の内容
農作物の生産量の増加	作物生産効果	1 4 , 6 6 4	水田の用水改良等による転作作物の面積拡大や単収の増加 対象作物：水稲、大豆、飼料作物、そば、すいか、アスパラガス、さといも
営農経費の節減	営農経費節減効果	2 2 , 1 8 7	水管理システムによる労働時間の短縮 対象作物：水稲
	維持管理費節減効果	3 6 , 5 6 0	用排水施設等の改修、統廃合に伴う施設の維持管理費の節減 対象施設：揚水機場、用水路
施設更新による従前の農業生産の維持	更新効果	1 6 9 , 7 0 4	老朽化した施設の更新による従前の農業生産の維持 対象施設：揚水機場、送水管、用水路
計		2 4 3 , 1 1 5	

費用対効果分析に関する説明資料

事業名	地域水田農業支援排水対策特別事業	都道府県名	北海道	地区名	森雨煙別
-----	------------------	-------	-----	-----	------

１．費用便益比の算定

区 分	算 定 式	数 値	備 考
総 事 業 費		2 6 6 , 5 0 0 千円	
年 効 用		1 6 , 3 2 2 千円	
廃 用 損 失 額		1 , 0 4 2 千円	廃用する施設の現存価値
総合耐用年数		3 4 年	当該事業の耐用年数
還元率×(1 + 建設利息率)		0 . 0 5 5 4	総合耐用年数に応じた効用から総便益を算定するための係数
総 便 益	= ÷ -	2 9 3 , 5 7 9 千円	
費 用 便 益 比	= ÷	1 . 1 0	

２．年効用の総括

項 目		年効果額（千円）	効果の内容
農作物の生産量の増加	作物生産効果	5 , 3 3 9	水田の排水改良等による転作作物の面積拡大や単収の増加 対象作物：水稲、小麦、大豆、馬鈴薯、メロン
営農経費の節減	営農経費節減効果	2 , 9 2 7	排水機能が向上し、ほ場の作業効率が高まることによる労働時間の短縮や機械経費の節減 対象作物：水稲、小麦、大豆、馬鈴薯、メロン
	維持管理費節減効果	1 , 2 7 1	排水路の改修に伴う施設の維持管理費の節減 対象施設：排水路
施設更新による従前の農業生産の維持	更新効果	6 , 7 8 5	老朽化した施設の更新による従前の農業生産の維持 対象施設：排水路
計		1 6 , 3 2 2	

費用対効果分析に関する説明資料

事業名	地域水田農業支援排水対策特別事業	都道府県名	埼玉県	地区名	種 足
-----	------------------	-------	-----	-----	-----

１．費用便益比の算定

区 分	算 定 式	数 値	備 考
総 事 業 費		１，６７４，０００千円	
年 効 用		１１０，３０６千円	
廃 用 損 失 額		０千円	廃用する施設の現存価値
総合耐用年数		３０年	当該事業の耐用年数
還元率×（１＋ 建設利息率）		０．０５９	総合耐用年数に応じた効用から総便益を算定するための係数
総 便 益	= ÷ -	１，８６９，５８６千円	
費 用 便 益 比	= ÷	１．１２	

２．年効用の総括

項 目		年効果額（千円）	効果の内容
農作物の生産量の増加	作物生産効果	７，０３４	水田の排水改良等による転作作物の面積拡大や単収の増加 対象作物：水稲、小麦、大豆、ブロッコリー、そば
営農経費の節減	営農経費節減効果	７８，１７９	排水機能が向上し、ほ場の作業効率が高まることによる労働時間の短縮や機械経費の節減 対象作物：水稲、小麦、大豆、ブロッコリー、そば
	維持管理費節減効果	２３，４１４	排水施設及び関連事業で改修される施設の維持管理費の節減 対象施設：排水路、調整池、用水路、農道
施設更新による従前の農業生産の維持	更新効果	１，６７９	老朽化した施設の更新による従前の農業生産の維持 対象施設：排水路
計		１１０，３０６	

費用対効果分析に関する説明資料

事業名	地域水田農業支援排水対策特別事業	都道府県名	静岡県	地区名	十 束
-----	------------------	-------	-----	-----	-----

1．費用便益比の算定

区 分	算 定 式	数 値	備 考
総 事 業 費		3 9 2 , 0 0 0 千円	
年 効 用		2 6 , 2 4 1 千円	
廃 用 損 失 額		-	廃用する施設の現存価値
総合耐用年数		3 3 年	当該事業の耐用年数
還元率×(1+建設利息率)		0 . 0 5 6 2	総合耐用年数に応じた効用から総便益を算定するための係数
総 便 益	= ÷ -	4 6 6 , 9 2 2 千円	
費 用 便 益 比	= ÷	1 . 1 9	

2．年効用の総括

項 目		年効果額（千円）	効果の内容
農作物の生産量の増加	作 物 生 産 効 果	1 8 , 3 1 4	水田の排水改良等による転作作物の面積拡大や単収の増加 対象作物：水稻、小麦、大豆、さといも、ねぎ
営農経費の節減	維持管理費節減効果	1 , 3 0 5	排水路の改修に伴う施設の維持管理費の節減 対象施設：排水路
施設更新による従前の農業生産の維持	更 新 効 果	6 , 6 2 2	老朽化した施設の更新による従前の農業生産の維持 対象施設：排水路
計		2 6 , 2 4 1	

費用対効果分析に関する説明資料

事業名	地域水田農業支援排水対策特別事業	都道府県名	熊本県	地区名	栗ノ尾
-----	------------------	-------	-----	-----	-----

1．費用便益比の算定

区 分	算 定 式	数 値	備 考
総 事 業 費		1 5 9 , 5 3 7 千円	
年 効 用		1 0 , 6 0 3 千円	
廃 用 損 失 額		-	廃用する施設の現存価値
総合耐用年数		3 0 年	当該事業の耐用年数
還元率×(1+建設利息率)		0 . 0 5 8 9	総合耐用年数に応じた効用から総便益を算定するための係数
総 便 益	= ÷ -	1 8 0 , 0 1 6 千円	
費 用 便 益 比	= ÷	1 . 1 2	

2．年効用の総括

項 目		年効果額（千円）	効果の内容
農作物の生産量の増加	作物生産効果	7 , 8 7 0	水田の排水改良等による転作作物の面積拡大や単収の増加 対象作物：水稻、イチゴ、トマト、小麦
営農経費の節減	維持管理費節減効果	2 6 4	排水路の改修に伴う施設の維持管理費の節減 対象施設：排水路
施設更新による従前の農業生産の維持	更新効果	2 , 4 5 2	老朽化した施設の更新による従前の農業生産の維持 対象施設：排水路
地域の生活環境の保全・向上	水辺環境整備効果	1 7	排水路の一部を魚類等の生息環境に配慮した魚巢ブロックにより整備することによる水辺環境の保全 対象施設：排水路
計		1 0 , 6 0 3	